

2023年12月4日

報道関係各位

## 千葉県消防局様向けヘリコプターテレビ電送システムを受注 全国の消防局のシステムで初めて地図合成装置「GEAR」を採用

～三井物産エアロスペース株式会社様より受注～

池上通信機株式会社は、三井物産エアロスペース株式会社様より千葉県消防局様のヘリコプターテレビ電送システムの機上設備（以下、ヘリコプターTV システム）を受注いたしました。納入は、2025年3月の予定です。

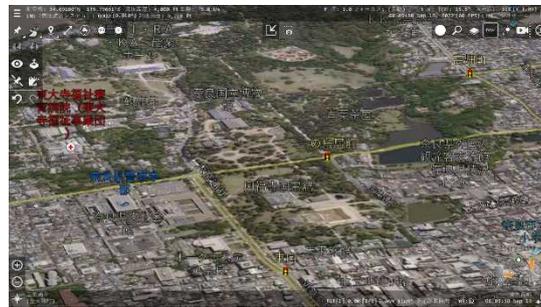
これまでに千葉県消防局様へは、「おおとり 1」と「おおとり 2」の機上装置および受信局設備を納入し長期間安定して運用されてきました。

今回更新される「おおとり 2」につきましては、1998年に機上装置を納入後、長きにわたり運用いただいておりますが、機体を「レオナルド社製 AW169」へ更新することにともない、引き続き当社のヘリコプターTV システムをご採用いただきました。

このヘリコプターTV システムは、ヘリコプターからの映像・音声を市内の受信局設備へ伝送し、受信した情報は千葉県消防局で確認することができます。これにより、現場の状況をリアルタイムで把握することができ、日々の消防活動に貢献いたします。

また今回ご採用いただいた日本地図対応の地図合成装置「GEAR」（Shotover 製）は、主に次の3つの特長を有することで、迅速な消防活動に貢献する装置となっております。

- ① 機体カメラの空撮映像に地図情報（施設名・道路名など）をリアルタイムに重ね合わせることで、災害発生時や救助活動時に場所の特定をスピーディに行えます。
- ② タッチパネルで目標をクリックすると建物の名称が表示され、自動的にカメラが目標へ向く仕組みとなっております。また、目標物の名称や緯度・経度を設定することでも同様の動作が可能となります。
- ③ 空撮映像上に、撮影情報（座標と標高、ヘリコプターからの距離と対地高度、施設名、住所など）を表示できます。



合成映像の例

ヘリコプターからの映像送信方式は、従来のアナログ仕様からアナログ/デジタル仕様（送信出力 5W）になり、遠方からも鮮明な映像を基地局へ伝送できるようになりました。

さらに、搭載機器が従来よりも小型軽量化されたことにより、燃費が向上し飛行距離および飛行時間が伸びることと、より効率的な消防活動ができるとともに、機内のスペースに余裕が生まれたことで、利便性も向上します。

池上通信機は、長年にわたり蓄積してきた映像業界でのノウハウを生かし、お客様のご要望にお応えする製品を開発し続けてまいりました。これからもヘリコプターTV システムをはじめとして、池上通信機の技術で国民の安心・安全に貢献してまいります。



地図合成装置「GEAR」

◆千葉市消防局様の公式websiteはこちらです。

[https://www.city.chiba.jp/shobo/somu/somu/shobo\\_top.html](https://www.city.chiba.jp/shobo/somu/somu/shobo_top.html)

◆三井物産エアロスペース株式会社様の公式websiteはこちらです。

<https://aerospace.mitsui.co.jp>

《お問い合わせ先》

●池上通信機株式会社 営業・マーケティング本部 プロモーション室

Tel : 03-5748-2216 Fax : 03-5748-2200

E-Mail : [smprm@ikegami.co.jp](mailto:smprm@ikegami.co.jp)

-